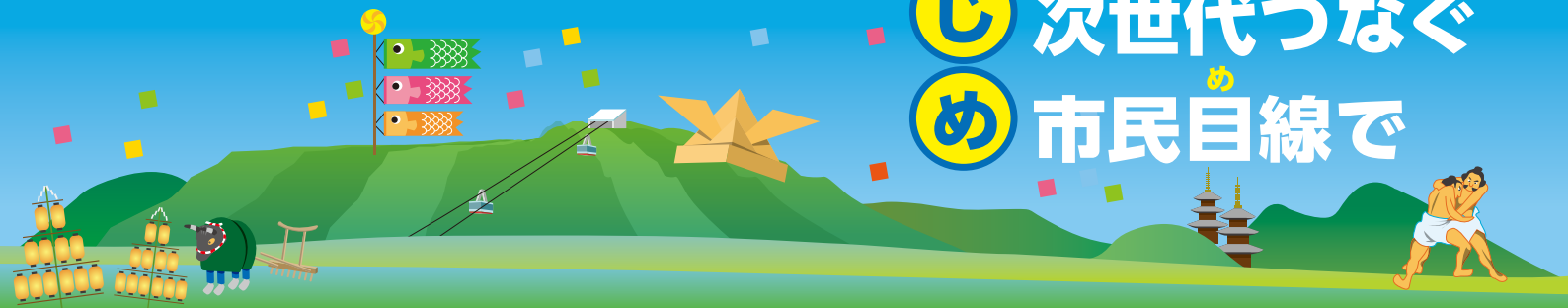


葛
城
市

はじめるネット

新風吹かそう 第1号

は 発信します!
じ 次世代つなぐ
め 市民目線で



発行 吉村はじめと始める会

『吉村はじめ』は考えています

はじめまして!

元日生まれの葛城市民・吉村はじめと申します。

歴史と自然に恵まれた葛城市は、交通の便も良く、多様な住民が集い暮らすまちです。地域の発展には、若い世代や他地域出身者の働きが重要だといわれます。

私は三十代半ばまで他府県で働き、葛城市の誕生に合わせて故郷に帰ってきたあと、志ある市民の方々と地域の情報発信活動に参加しました。いくつもの失敗を経験しつつも、多くの素晴らしい出会いがあり、学びと感動がありました。

當麻と新庄、二つの町が合併して十数年。いまだに、お互いの良さを生かせていないと感じます。このような葛城市政に大切なのは「市民感覚」「市民目線」だと思います。先人の知恵に学び、世代を超えた市民の声を市政に届けることで、よりよい葛城市を次世代につなげていければと考えております。



吉村はじめがマジメに考え



**は
情報発信
は
市民が判断**

市民の皆さん! 市政の「こんなことが分からない、知りたいなあ」なんてことはありませんか?

私は市民のボランティア活動「葛城市きてみてネット」を通じて、葛城市の情報を発信してきました。

行政も議会も、住民が正しい情報を知り、住民自ら判断する手助けをするために、ありのままの情報を提供すべきです。

すでに何名かの議員が実行されているように、インターネットや議会報告会などで、議会を市民に近づける努力が必要だと感じます。



**じ
次世代に
つなごう**

安心して暮らすためには、安定した仕事と十分な収入とともに、安らげる地域社会が必要です。年配の方々から私のような中堅世代、若者、子どもたちへと世代を超えて生きる知恵をつないでいければ、地域づくりも継続していけると確信しています。

歴史と伝統ある二つの町が合併して誕生した葛城市も、先人の知恵や経験に学び、行政や議会が協力して、次の世代につなぐ地域づくり、まちづくりを進めていくべきです。

る葛城市政の①は②じ③め

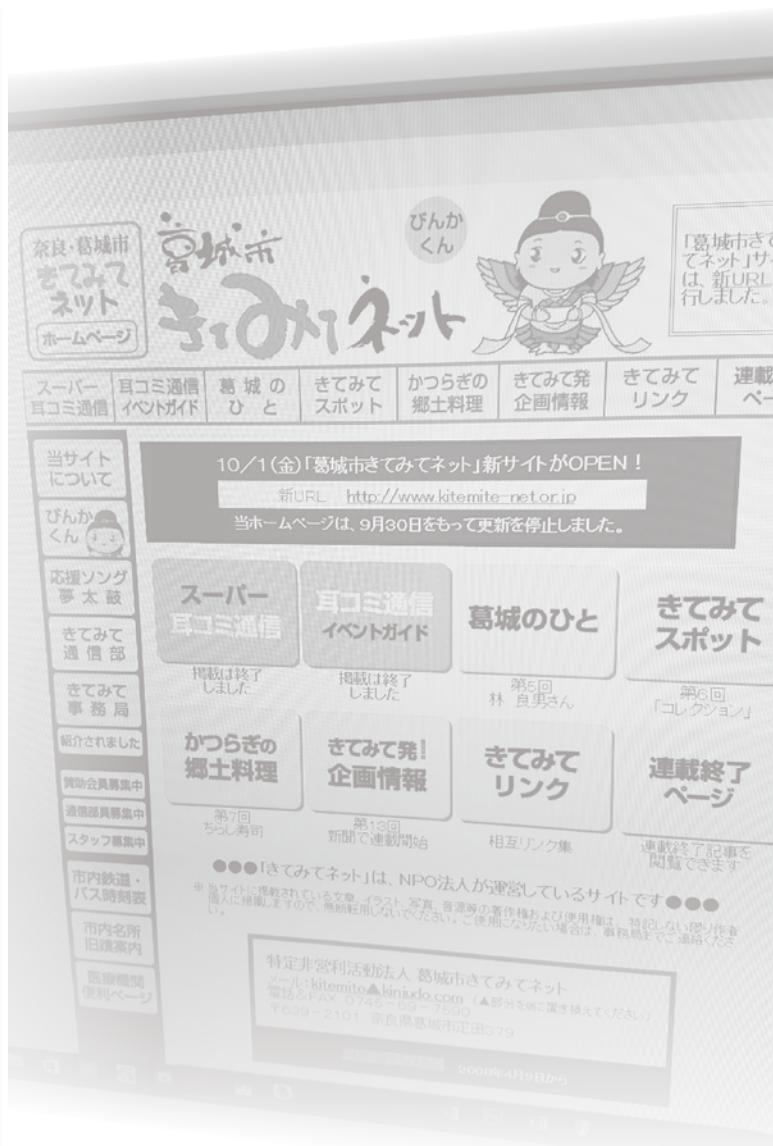


め 市民目線で

税金の使い道を決めたり大型事業を進めたりするときに、行政や議会が、市民の声に謙虚に耳を傾けることが大切です。

市民が本当に望んでることは何か、市民に喜ばれる事業とは何かを、議会が真剣に議論して行政が誠実に実行していけば、葛城市政は良い方向に向かうでしょう。

市政に最も必要なのが「市民目線」だと、私は考えます。



元日生まれの葛城市民 吉村 はじめ

1968(昭和43)年1月1日、葛城市生まれ

現在、きんじゅうどう金壽堂出版有限会社 代表取締役

学歴 新庄北小学校、新庄中学校、奈良県立畝傍高等学校、立命館大学文学部卒業

当時、図書館先進県と言われた滋賀県へ！
公共図書館開設にたずさわりました。

経歴 湖東町(現・東近江市)に図書館司書として勤務
のち出版界へ かもがわ出版(京都市)に勤務

一念 10年間のサラリーマン生活ののち、
発起 自分の出版社をつくっちゃいました。

2002年 金壽堂出版(枚方市)を創業

2004年 葛城市誕生。金壽堂出版を葛城市に移転
「葛城市市政モニター」に参加

帰郷後、ふるさと葛城市の
良さを発見！

まちおこし活動に目覚め、葛城市の情報発信に
努めました。

2008年 市民有志とともに「葛城市きてみてネット」活動を開始

2010年 活動が発展し、NPO法人に(2013年に法人解散)
アスク出版(新宿区)関西事務所を開設



金壽堂出版では
こんな本を扱っています



NPO法人葛城市きてみてネットが
葛城市市民活動支援事業の補助を受けて
つくった6か国語パンフレット



※本紙のタイトルは、「葛城市きてみてネット」にあやかって命名しました。

「葛城市きてみてネット」の名称はプロのコピーライターさん(疋田在住)によるもので、響きも良くて親しみやすい名前ですね! 同じくプロの漫画家さん(疋田在住)が、初代キャラクターを作ってくださいました。

「葛城市きてみてネット」は数人で始めた活動でしたが、優れた技量を持ったプロや専門知識と人脈を持つ公務員が、一市民として無償で力を尽くされ、大きな輪が広がりました。あらためて皆さんに敬意と感謝の気持ちを表します。

※「葛城市きてみてネット」は現在、活動の一部をインターネットでご覧いただけます。

<http://www.kinjudo.com/kitemite/index.htm>